

HIPRAC の地域貢献賞（日本放射線腫瘍学会）受賞について

1 要旨・目的

広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）が実施してきた放射線治療の品質保証への支援活動が高く評価され、（公財）日本放射線腫瘍学会（以下「学会」という。）の「地域貢献賞」を受賞した。

2 現状

（1）学会「地域貢献賞」の目的

放射線治療の発展に寄与する地域貢献活動をした個人又は団体を表彰するため、学会が寄付金を基に今年度創設した。

（2）対象活動

- ア 地域における放射線治療の水準向上
- イ 地域での啓発・教育活動
- ウ 災害時の多施設での医療連携 等

（3）受賞の状況

3名受賞。団体の受賞はHIPRACのみ。

3 概要

（1）受賞者の概要

ア 主体

HIPRAC 及び4基幹病院（広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院）の医学物理士や診療放射線技師で構成する「技術支援ワーキンググループ」

イ 主な活動

（ア）放射線治療では、ガイドラインにより、第三者機関が出力線量を評価して品質管理を行うことが求められているが、全ての放射線治療施設を対象とした公式の第三者機関が一つしかなく、十分な品質管理が実施できている医療機関が少ない。

（イ）そのため、HIPRAC は、地域の放射線治療の水準向上を目的として、放射線治療装置の出力線量測定や精度管理を無償で実施し、第三者評価を実施している。

こうした取組は全国で唯一のものであり、参加医療機関も徐々に拡大している。

《出力線量管理調査の参加状況》

（ ）は県外医療機関

年度	H29	H30	R1	R2	R3
医療機関数	12 (3)	22 (8)	33 (16)	33 (16)	36 (19)

ウ 学会発表等

- 学会・研究会での発表 国内20件、海外7件
- 学術論文 海外3件

（2）予算

7,482千円（広島がん高精度放射線治療センター指定管理委託料）

4 その他

11月10日（木）に広島市で開催の学会（第35回学術大会）で表彰式が実施される。